

小田原創友クラブ

第 69 号

【発行】小田原市老人クラブ連合会
〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】(株)博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



写真提供:小田原市広報広聴課 《一夜城から海を望む》

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



老人クラブの 地域支援について

小田原市老人クラブ連合会（小田原創友クラブ）
会長 杉崎 勲

平成27年4月の介護保険制度の見直しによって、要支援者（要支援Ⅰ・Ⅱ）に対する介護サービスは今後、市町村が「新地域支援事業」として行う事となりました。

この事業が目指すのは、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域の各団体や住民参加による、支えあ

いの仕組みをつくる事です。この度、この問題に関して県老連より「地域支援事業担い手養成研修について」と言う問題が提起され、この進め方については創友クラブのみの問題として捉えるのではなく、行政、社協とも協議し、その結果として既に昨年度、小田原市では法改正に基づき福祉



健康づくりと 加入促進について

小田原市老人クラブ連合会総務部長
大友 昭夫

平素は小田原市老連（創友クラブ）の諸行事にご協力賜りありがとうございます。

さて高齢者の健康と生きがいを思うとき、誰もが健康で長寿を願うことでしょう。そこで私も以前聞いたことのあるWHO（世界保健機関）の健康の定義を思い起こしました。そこには「健康とは、身体的にも精神的にも、そして社会的なつながりの中でバランスのとれた状態を言う」とされています。

そこで私たち創友クラブの年間行事を振り返って見ますと、夫々の研修等が健康づくりに関連したものが多く、老人大学では小田原市福祉健康部や市内の医療機関の協力をいただき会員の疾病予防の一助となっております。

恒例のシルバースポーツ大会はじめ多くの地区での世代間交流行事や筋トレ教室、グラウンドゴルフ等の活動は体力づくりになると共に、地域社会とのつながりが進み親睦の輪が広がっております。

健康部主導のもと協議を重ね「生活支援隊」を発足させ、既に昨年末には何らかの方法で各家庭、各地区にお知らせされました。

基本的な活動方法としては各種団体を通して、全体で活動できる体制になっております。県老連連達の「地域支援事業担い手養成研修」に基づき、まず「西湘ブロック」小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町で、それぞれで

(1)モデル地区養成担い手研修
(2)ブロック担い手養成研修

の予定になっておりますが、小田原は前述の通り、生活応援隊

に決定しておりますので、研修もこれを主題として進めます。

内容として ①高齢者の見守り ②外出支援 ③家事援助 ④屋外作業 ⑤屋内作業 ⑥器具等補修作業 ⑦各種相談など多岐にわたる内容になるかもしれませんが、高齢者が高齢者を助ける、を大前提として皆様に精進していただく様、お願い申し上げます。

この事業を進めるにあたっては、各地域の事業に対する温度差、各種団体との連携を密にさせていただき、明るい高齢者社会の構築に邁進しましょう。



平成29年度 「友愛チーム リーダー研修会」開催

厚生部長 北村 時夫

6月21日(水)おだわら総合医療福祉会館に各チームの代表者と市老連理事が参加して、地域で暮らす一人暮らしや介護を受けている高齢者宅を訪問し、支援活動を行っている友愛チーム員の資質向上を図ることを目的に研修会が開催されました。

まず、主催者を代表して大友副会長より挨拶があり、次いでゆめクラブ神奈川活動推進員の松田冴子講師より「友愛チームの活動について」老人クラブの地域づくりのパンフレットを



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

総会開催

教養部長 山口 繁

平成29年5月18日(木)午前10時30分より、おだわら総合医療福祉会館4階ホールにて平成29年度総会が開催されました。

山口副会長の司会で始まり、まず北村副会長の「開会のことば」に続いて市老連の杉崎会長の挨拶があり、続いて来賓の紹介を行ったのち、代表して小田原市長 加藤憲一さまより祝辞をいただきました。

そして上府中地区・永塚睦会平野義朋さんが議長に指名され議事に入りました。



最初に平成28年度事業報告、平成28年度一般会計収入支出決算報告、福祉友愛募金特別会計収入支出決算報告、基金等積立金報告の説明があり、監査報告、質疑応答の後、議案は拍手をもって承認されました。

次に平成29年度の事業計画案、平成29年度一般会計収入支出予算案、福祉友愛募金特別会計収入支出予算案の説明があり、この議案も拍手をもって承認されました。

最後に志村副会長より「閉会のことば」があり、無事終了いたしました。

小田原創友クラブ会員加入促進については、すべての地区でご協力をいただき感謝しております。地域によっては、各種スポーツや健康づくりの集い、健康指向の料理教室等が加入促進の機会となり、特に現会員のコミュニケーション能力が高いところを生かしていただき、皆さんが楽しみ喜ぶ活動を進めることにより、多数の新会員が今後加入されることを切に願っております。

参考に「地域包括ケアシステムの老人クラブの位置づけ」また「地域で高齢者の在宅生活を支える」サークルの中での老人クラブの活動内容について説明がありました。その後、事例発表「下曽我地区の活動状況」について実際に取り組んでいる説明がありました。いくつかの質疑応答があり予定通り「閉会のあいさつ」で終了しました。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

西湘ブロック交流

グラウンドゴルフ大会

体育部長 志村 善治

健康事業の一環として、西湘ブロック老人クラブ連合会主催（小田原市、箱根町、湯河原町、真鶴町）の西湘ブロック交流グラウンドゴルフ大会が、小田原市福祉健康部副部長はじめ、多数のご来賓をお迎えして、6月6日（火）酒匂川スポーツ広場で開催されました。

当日の早朝は霧雨模様の状況でしたが、開会式において、大会会長の杉崎会長からの挨拶、来賓の小田原市福祉健康部副部長の杉崎様様の祝辞を頂いた頃には、霧雨も上がり絶好のグラウンドゴルフ日和となりました。

準備体操の後、選手は各スタートホールに移動し競技開始のホイッスルを合図にスタートしました。先行組及び後行組の選手（約100名の選手）が1ラウンド終了

後、昼食タイムを約40分間とり、その後、午後1ラウンドを行い予定通りに競技を終了しました。選手の成績は2ラウンドのトータルで順位を決定しました。

閉会式は選手及び役員が整列し、成績発表と大会会長の杉崎副部長より賞品の授与が行われました。

今大会の講評を箱根町の上野会長から「天候に恵まれ、グラウンドコンディションも良く選手諸君の頃の練習と頑張りが好成績に繋がっていると思います」とのお言葉を頂きました。

最後に山口副会長の閉会の言葉で大会を終了しました。



入賞

順位	氏名		スコア
優勝	小田原	宇佐美 功	38
準優勝	箱根	岩田 光夫	40
第3位	箱根	佐藤 順	40
第4位	小田原	北村 俊之	42
第5位	箱根	和田 千代	42

※準優勝と3位および4位と5位は同スコアのため、生年月日により順位決定

BB賞

順位	氏名		スコア
第93位	箱根	竹縄 敏	60

ホールインワン賞

No.	氏名	
1	箱根	和田 千代
2	箱根	菊川 静雄
3	箱根	勝又 實
4	箱根	岩田 光夫
5	箱根	佐藤 順
6	小田原	田中 正男
7	小田原	内田 健三
8	小田原	高橋 昭彦
9	小田原	西中 順一
10	小田原	安藤 美茂
11	小田原	宇佐美 功
12	湯河原	山下 尊巳
13	湯河原	望月 芳夫
14	真鶴	露木 芳江
15	真鶴	小串 武弘

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成29年度

第52回

小田原市老人クラブ連合会老人大学

① 趣旨

高齢期における生活に潤いを与え、かつ充実した生きがいのある生活を送るのにふさわしい教養を培うことを主眼としてこの大学を開催します。

② 主催

小田原市老人クラブ連合会

③ 日程及び内容

	日時	内容	講師
第1回	8/3(木) 13:30~ 15:30	開講式 ・講話 「高齢の転倒・骨折予防について」	小田原市立病院医師 上杉 昌章 氏
第2回	9/7(木) 13:30~ 15:30	・講話 「高齢期における口腔ケアと口腔機能の維持・向上について」	小田原歯科医師会 理事(地域医療担当) 西山 幸仁 氏 歯科衛生士 小林 和代 氏
第3回	11/29(水) 13:30~ 15:30	・講話 「高齢期に知っておきたい薬の知識について」	めぐみ薬局薬剤師 清水 一恵 氏
第4回	1/25(木) 13:30~ 15:30	・講話 「介護保険制度について」 閉講式	小田原市高齢介護課

④ 会場

おだわら総合医療福祉会館 4階ホール

⑤ 受講者

定員120名(非会員の参加も含む)

⑥ 第1回~第3回は講座終了後、講師と参加者との対話集会を行います。

⑦ 修了証書

3回以上出席の方に授与

※受講者は筆記用具をご持参ください。

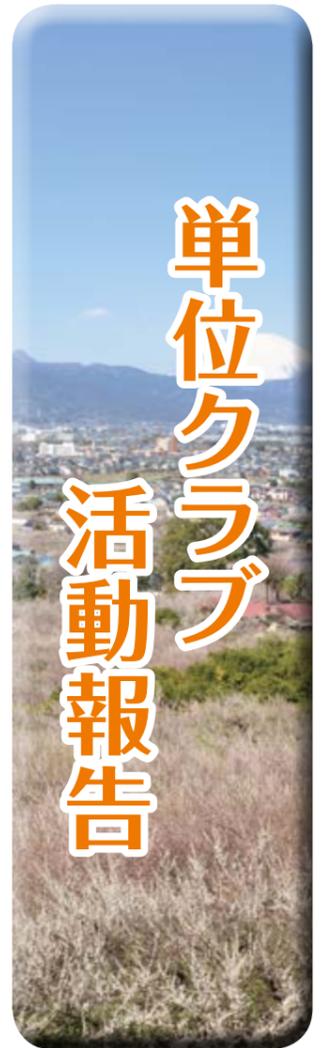
※おだわら総合医療福祉会館には駐車場がありませんので車はご遠慮下さい。ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

平成29年度

事業計画

- (1)社会見学と研修旅行……………〔春:4月・愛知県方面〕
 - (2)女性部研修会「食で生き生き!栄養教室」……………
〔全13回:4/25・5/17・6/6・6/23・7/12・7/28・
8/21・9/1・9/20・10/17・11/17・1/26・2/15〕
 - (3)小田原市慰霊塔清掃奉仕……………〔5月~3月〕
 - (4)平成29年度市老連総会……………〔5月18日(木)〕
 - (5)友愛チームの活動推進および研修会……………〔6月21日(水)〕
 - (6)地域支援事業担い手養成研修会……………〔7月19日(水)〕
 - (7)第52回老人大学……………〔全4回:8/3・9/7・11/29・1/25〕
 - (8)『小田原創友クラブだより』の発行…〔全2回:8月-69号・1月-70号〕
 - (9)健康づくり(体力測定等)事業の推進……………
〔女性8月30日(水)・男性8月31日(木)〕
 - (10)友愛募金運動の推進……………〔8月~9月〕
 - (11)友愛活動等支援事業「女性部のつどい」……………〔9月11日(月)〕
 - (12)社会奉仕の日……………〔9月20日(日)〕
 - (13)社会見学と研修旅行……………
〔秋:9月26日~10月3日:立山・黒部アルペンルート〕
 - (14)単位クラブ強化推進(加入促進運動)……………〔10月~3月〕
 - (15)生きがいふれあいフェスティバル・シルバー作品展……………
〔10月21日(土)~22日(日)〕
 - (16)老人クラブ開放・地域連携モデル事業……………〔10月22日(日)〕
 - (17)第44回小田原市シルバースポーツ大会……………
〔10月25日(水)※予備日26日(木)〕
 - (18)小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会……………
〔11月8日(水)※予備日9日(木)〕
 - (19)市老連大会……………〔11月14日(火)〕
 - (20)単位クラブ会長等研修会……………〔2月上旬予定〕
 - (21)小・中学校の児童・生徒との交流及び防犯ボランティアパトロールの推進
 - (22)その他、小田原市及び地区の行事に参加協力
- 【西湘ブロック関連事業】**
- (1)西湘ブロック老連連絡協議会の開催……………〔4月18日(火)開催:小田原市〕
 - (2)西湘ブロック老連交流グラウンドゴルフ大会……………
〔6月6日(火) ※予備日7日(水)〕
 - (3)高齢者訪問支援推進員養成研修会……………〔未定:開催:真鶴町〕
 - (4)単位クラブリーダー新任会長等研修会……………〔未定:開催:湯河原町〕
 - (5)ゆめクラブ大学事業……………〔8月1日(火)〕
 - (6)地域支援事業担い手養成研修会……………〔12月上旬予定〕

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



単位クラブ 活動報告

久野地区

総会員数
129

宮本あゆみクラブ
正寿会

会長 北村 時夫
会長 府川 正子

会員数

男 31 女 58
男 7 女 33
計 89 計 40

活動経歴

久野地区は小田原市の西部に位置し面積は28平方キロメートルで、北部は南足柄市と、西部から南部にかけて箱根町との境界になっています。また市域では北東部から南東部にかけて富水、二川、芦子、大窪地区と接しています。西部は箱根連山に連なる山地で、明星ヶ岳、塔の峯の東斜面となっており、明神ヶ岳への登山ルートもあります。地域の西から東にかけて久野川が流れ、東側を小田原、厚木自動車専用道路が通っており、豊かな里山里をもつ、自然環境に恵まれた地域です。

久野地区には2つの単位クラブがあり、活動は単位クラブ毎に実施しています。地区合同での活動は、「ペタンク大会」「バス旅行」「初詣」「シルバースポーツ大会」「市老連大会」と年2回の研修旅行です。

クラブの活動

単位クラブでは親睦を兼ねた定例会を月に1回行い、業務の伝達と会を盛り上げるため、お茶会と歌やゲームを行っています。また三世代交流で保育園児達と仲良く交流し、その後、日赤奉仕団の方々の食事を通して理解を深め



2017/04/30

課題

会員の高齢化に伴い仲間のコミュニケーションがより大切になり友愛の心を育てる努力をしております。

若い会員の加入がなくなり、役員になる人がいない。どうしたら魅力ある活動ができるか考えております。

(文正寿会会長 府川 正子)

上府中地区

総会員数
484

高田第一福寿会	会長 磯崎 一博
高田第二福寿会	会長 杉崎 博
八千代会第二	会長 原田 洋二
永塚睦会	会長 川本 郁夫
大友第一長寿会	会長 小泉 克夫
大友第二長寿会	会長 松嶋 修吉
延雄清睦会	会長 伊東 修吉

会員数

男 39 女 28	計 67
男 43 女 27	計 70
男 42 女 19	計 61
男 30 女 35	計 65
男 39 女 44	計 83
男 32 女 40	計 72
男 36 女 30	計 66

クラブの現況

上府中地区は単位クラブが7クラブ在り、おのの独自の活動をしています。全体的に毎月の定例会合、地区内の神社、公園等の清掃奉仕活動を行っています。また単位クラブによっては、カラオケ、マージャン、折り紙、手芸、グラウンドゴルフなど様々活動しております。

自治会連合会の活動に参加

平成27年8月上府中地区まちづくり委員会が設立され、自治会連合会、地区社会福祉協議会、民生児童委員など地域の多くの団体の代表者で構成され、その中に老人クラブ連合会も参加しております。その中は3分科会に別れています。設立以来毎月1回会合があり、一つは文化、教育。上府中地区の歴史マップを作り史跡巡りを行いました。

健康、福祉。高齢者の見守り活動、いきいき健康教室、高齢者ふれあいサロン等があり各地区単位でふれあいサロンを開催(お茶飲み会)ターツ、スポーツ吹き矢、折り紙、囲碁将棋、健康教室、頭の体操等いろいろと行われています。

生活環境、地域振興では、上府中地区安心、安全、環境衛生と美化活動、空き家情報マップ等を作成し見直しをしています。防災訓練に中学生参加者への支援、エコキャップ回収等を

行っています。この分科会の会合に毎月単位クラブの会長は参加しています。
(文連合会長 小泉 郁夫)

高田第二福寿会

結成時期
昭和35年9月26日

活動経歴

会員の幸と長寿を願い昭和35年に高田福寿会が結成され会員の増加に伴い昭和50年4月1日高田第一福寿会と高田第二福寿会に分割しました。昭和60年9月に分割10周年を記念して福祉大会を行いました。

表彰経歴

- 平成7年11月 県知事表彰 「地域の美化活動」
- 平成20年6月 環境大臣表彰 「地域の美化活動」
- 平成20年7月 市老連会長表彰 「G・Gクラブ活動」

高田第二福寿会の現況

上府中地区の南に位置する単位クラブで田園や工場がある高田別堀連合自治会内に住んでいる会員で組織しています。



クラブの活動

1. 総会及び福祉大会
総会は4月、福祉大会は9月に定例会と合わせて開催。毎月1回定例会を開催し、会員相互の親睦と情報伝達を行っています。

2. グラウンドゴルフ、カラオケクラブの活動

グラウンドゴルフは週2回運動広場で練習を行っています。カラオケクラブは公民館で週2回名人争いを行っています。

3. 神社境内と遊園地の清掃

定例会の日の午前中に2班で実施、作業の前にラジオ体操を行っています。

4. その他

自治会の行事に積極的に参加しています。

(文・会長 杉崎 一博)

前羽地区

総会員数 256

西長楽会	会長 椎野 高行
中宿長楽会	会長 坂口 修
向原長楽会	会長 杉山 栄一
町屋長楽会	会長 大井川悦雄
羽根尾長楽会	会長 北村 和夫

会員数

男	36	女	43	計	79
男	21	女	31	計	52
男	29	女	29	計	58
男	12	女	19	計	31
男	18	女	18	計	36

地域とクラブ名

前羽地区は小田原市の一番東側にあり、前に相模湾を、後ろはミカン山に囲まれ、国道一号線沿いに位置します。地区には五つの単位クラブがあり夫々地区名の後に「長楽会」を付けています。

クラブの活動

地区の活動を紹介します。
生活を豊かにする活動

日帰りバス旅行、初詣バス旅行、湯治旅行(一泊)があり毎年楽しみに参加しています。しかし最近湯治旅行の参加者が少なくなっており、内容の見直しが待たれます。

地域を豊かにする活動

前羽海岸の清掃、地域の皆さんと一緒に海の日には海岸のゴミ回収をしています。また社会奉仕の日として9月の神社例大祭に合わせて、御旅所となる公園の除草、清掃をしています。夏祭りでは主導的な活動もしています。

健康寿命を延ばす活動

前羽長楽会グラウンドゴルフ大会が春と秋に開催されます。今年で30回目となる記念の大会が楽しみです。会員以外の地域の方々にも輪を広げて会員増強にも繋げていきたい。

女性部の活動

各地区の女性部長が中心になって毎月2回、手芸、踊り、料理など多彩な活動をしています。交流を深める良い場になっています。

囲碁、麻雀のサロン活動

囲碁とマージャン毎月2回、地区社協



(文連合会長 杉山 栄一)

総会の楽しみ

5地区の単位クラブからなる「前羽長楽会」の総会の後に行っている懇親会の様子を紹介します。昼食の後に行われる懇親会では各地区から趣向を凝らした演目を披露しています。1人の出し物は少なくしてみんなで輪になって合唱し、元気に、楽しく、そして親睦を深めています。市老連大会で出演した踊りも披露、また大会に参加できなかった会員ともども踊りに感動しています。今年の出し物の踊りは何かと、今から楽しみにしています。

の協力を得て、前羽福祉会館で行っています。向原長楽会からも積極的に参加しましょう。

曾我地区

総会員数 388

上曾我千歳会	会長 鳥居 明男
曾我大沢八千代会	会長 川本 博之
中河原高砂会	会長 加藤 時雄
鬼柳寿会	会長 市川 義弘
鬼柳団地ゆめクラブ	会長 田中 章悟
下大井長寿会	会長 田中 正男

会員数

男	29	女	47	計	76
男	28	女	24	計	52
男	36	女	42	計	78
男	20	女	29	計	49
男	18	女	35	計	53
男	40	女	40	計	80

クラブの現況

曾我の郷は霊峰富士と箱根連山を一望できる曾我山の麓、川東地域に位置し、環境穏やかで人情豊かな郷に6クラブの老人会組織が存在しています。ここに3クラブの紹介を致します。

上曾我千歳会

昭和41年4月1日
春秋の彼岸千体堂念仏 春夏の馬頭観音念仏を女性会員が鐘をたたき念仏を唱え感謝の気持ちを持っていきます。その後懇親会で情報交換と親睦を図りつつ、演歌唱歌を大きな声で合唱健康寿命の増進を図っています。

平成27年の懇親会の席では会員及び会員の友達の協力をいただき演奏を(創作踊り、バンド演奏でフラダンス等)鑑賞しました。今後同様な機会を設けたいと考えています。また年に1回程度市高齢介護課等において「出前講話」を行なっていただき老化防止と知識知恵の維持向上を図っています。

(文会長 鳥居 明男)

下大井長寿会

平成17年4月1日

私たち新生長寿会は今年で発足12年を迎えました。一時活動が停滞し自然消滅の形でしたがその後、役

クラブの活動

環境美化活動
春秋、会員多数の参加を得て空き缶その他のいろいろなゴミを回収し市に処理をお願いしています。最近では自治会の役員の方に応援していただき大きな力になってきました。

毎年の敬老の日には全会員に記念品(お赤飯と粗品)を役員が会員宅を訪問して一声かけ状況把握しながら配布しています。

新年会

毎年新年会を開催しています。当日は昼食をはさみ市の「出前講座」を利用し会員の親睦を図ります。例えば最近の振り込め詐欺などの寸劇を交えて身近なものにしています。

(文会長 田中 正男)

中河原高砂会

昭和41年4月1日
高砂会は曾我梅林の中の一つ、中河原梅林をホームグラウンドとしている中河原自治会会員で組織しています。毎年総会で決定した行事計画を役員が先頭に立って実行していきます。

年間行事計画
飲食を伴う新年会、昼食をとりながらの懇親会(年2回)、毎月1回グ

ラウンドゴルフの練習、女性会員の折り紙教室。また自治会と一緒に年3回ほど区内の美化清掃運動に積極参加。最近では美化運動の成果で地域を流れる「砂留田川」には夏の夕暮れが飛び交う様子を見ることが出来るようになりました。今後も諸行事を通して、会員相互の意思疎通を図り親睦を深めていきたいと思ひます。

(文会長 加藤 時雄)

曾我地区各クラブ共通の事業

一、友愛訪問活動、寝たきりの方独居の方などを対象に民生委員の協力を得て見守りと戸別訪問して状況の把握を行っています。
二、学童の下校時、グループ編成して防犯見守り活動を実施しています。
三、市指定の旅館を利用して年1回、一泊会員親睦旅行を行い、夜は食事を楽しみながら歓談とカラオケを楽しみ脳の活性化を図ります。復路では名所旧跡等々の見学を行います。
四、新規会員の加入促進活動。

(文連合会長 鳥居 明男)



月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
9	10	慰霊塔の清掃	十字・二川・下曾我地区	市慰霊塔
	20	常任理事会	・第51回小田原市老人クラブ連合会大会について ・生きがいふれあいフェスティバルについて ・小田原創友グラウンドゴルフ大会について ・小田原創友クラブだより第68号について ・第43回シルバースポーツ大会について ・県老連理事長表彰審査結果について	おだわら総合医療福祉会館
	25~27	秋季研修旅行	第1班 久野・緑・豊川・山王網一色・大窪・早川・下中・新玉地区	紅葉の宮城蔵王と城下町米沢・南東北の旅～蔵王のお釜・上杉神社・国宝白水阿弥陀堂・塩崎・いわき復興の足跡～
	28~30		第2班 下府中・足柄・富士見・万年・芦子・東富水・桜井・二川地区	
28	西湘ブロック 「高齢者訪問支援活動推進員研修会」	・講座①「友愛活動実施要綱改正について」 講師 神奈川県老人クラブ連合会 松田 冴子 氏 ・講座②「高齢者訪問活動における健康維持について」 講師 小田原ヤクルト販売株式会社 水野 行 氏 ・講座③「認知症とその予防について」 講師 箱根町福祉部健康福祉課 保健師 水野 良子 氏	箱根町老人福祉センター	
10	3~5	秋季研修旅行	第3班 曾我・上府中・幸・十字・下曾我・国府津・富水・酒匂地区	紅葉の宮城蔵王と城下町米沢・南東北の旅～蔵王のお釜・上杉神社・国宝白水阿弥陀堂・塩崎・いわき復興の足跡～ 参加者239名
	6	女性部研修会	「食で生き生き栄養教室」(Fブロック 前羽・下中地区対象)	前羽福祉館
	10	慰霊塔の清掃	酒匂・久野地区	市慰霊塔
	14	生きがいふれあいフェスティバル シルバー作品展 *出展・329作品	シルバー作品展搬入	生きがいふれあいセンターいそしぎ
	15		シルバー作品展展示	
	16		シルバー作品展展示・3世代交流事業	
	17		シルバー作品展搬出	
	17	シルバースポーツ大会実行委員会	第43回シルバースポーツ大会について	生きがいふれあいセンターいそしぎ
20	財務部会	上半期予算執行状況確認	おだわら総合医療福祉会館	
26	第43回シルバースポーツ大会	優勝 曾我地区 準優勝 下曾我地区 第3位 片浦地区	酒匂川スポーツ広場	
11	1	中間監査 常任理事会 理事会	・中間監査報告について ・交通安全について ・市老連大会について ・創友クラブ グラウンドゴルフ大会について ・老人クラブ加入促進運動中間報告について ・福祉友愛募金のお礼と結果について ・シルバースポーツ大会の結果について、他	おだわら総合医療福祉会館
	2	女性部研修会(市高齢介護課共催)	「食で生き生き栄養教室」 (Eブロック 曾我・下曾我・上府中地区対象)	梅の里センター
	9	小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会	大会開催	酒匂川スポーツ広場
	11	慰霊塔の清掃	富水・東富水・曾我地区	市慰霊塔
	15	第51回小田原市老人クラブ連合会大会	・式典 一般表彰 団体:1団体 功労者:18名	小田原市民会館
	30	老人大学 第3回 受講者と医師の対話集会	・講話「薬の正しい使い方」 講師 小田原薬剤師会 斉藤 昌久 先生	おだわら総合医療福祉会館
12	15	常任理事会 理事会	・春季研修旅行の見積もり検討会 ・単位クラブ会長研修会について ・加入促進運動について ・春季研修旅行について 他	おだわら総合医療福祉会館
1	12	常任理事会 理事会	・単位クラブ会長研修会について ・春季研修旅行について ・市老連会員加入促進運動について 他	おだわら総合医療福祉会館
	19	老人大学 第4回	・講話「介護保険の話」 講師 市高齢介護課 介護給付係長 竹内 宏延 氏	おだわら総合医療福祉会館
	26	女性部研修会(市高齢介護課共催)	「食で生き生き栄養教室」(Aブロック 緑・新玉・山王網一色地区)	保健センター
2	8~9	単位クラブ会長研修会	・講話「“自分”を見つめ“今”をより良く」 講師 神奈川県行政書士会 小田原支部 行政書士 雑賀 美治 氏	ホテルおかだ
	15	老人大学 第5回	・講話「高齢期の介護予防」～いつまでも元気に暮らすために～ 講師 市高齢介護課 保健師 伊藤 真弓 氏 ・閉講式	おだわら総合医療福祉会館
3	7	常任理事会 理事会	・還付金サギについて ・平成29年度単位クラブ市補助金について ・敬老行事の見直しについて ・平成29年度春季研修旅行について ・友愛チーム関係提出書類について ・女性部会について ・平成29年度単位クラブ役員等報告書について ・加入促進運動の報告書について 他	おだわら総合医療福祉会館
	10	慰霊塔の清掃	万年・片浦・芦子地区	市慰霊塔
	15	旅行責任者会議	春季研修旅行説明会	おだわら総合医療福祉会館
	23	女性部会	・平成28年度女性部事業報告について ・平成29年度女性部事業計画について ・その他	おだわら総合医療福祉会館

市老連主要行事報告 (平成28年9月～平成29年3月分)

旅行記

創友クラブ 春季研修旅行 「桜舞う日本名城と 博物館明治村見学」

片浦地区高砂会
宮本多喜子

出発の朝は青空が広がり、楽しい旅になり
そうなる予感がしました。

1日目の明治村は今回の旅行で私が一番
行きたかった所です。村内のホールで昼食を
とった後、村内めぐりに出ました。

まず、村営バスに乗って五丁目の帝国ホテ
ル前まで行きました。村は一丁目から五丁
目までに分かれています。帝国ホテルは大谷
石の重厚な造りで、昔また東京にあった頃
に
あこがれて見ていた建物そのままでした。ロ
ビーに入ると床に赤い絨毯が敷かれ、急に
偉くなった様な気がして、欧米に負けたくな
いという明治の人の心意気が感じられまし
た。

五丁目は他にも、金沢監獄中央看守所や
監房、前橋監獄雑居房、東京駅警備巡査派
出所、宮津裁判所等があり、金沢監獄の正門を
出た時には何となくほっとした気分になり
ました。

木造のとても教会には見えない聖ザビエ
ル天主堂や、手紙を入れると十年後に届け
てくれる宇治山田郵便局舎など興味深い建
物が沢山ありました。

四丁目には、シアトルやハワイ、ブラジルか
ら移築した移民集会所、住宅など簡素な貧
しそうな建物がありました。

西園寺公望別邸は、重要文化財に指定さ
れていますが、明治・大正の政治を動かして
いた人の別荘にしては、警沢な感じはせず人
柄を表しているのかなと思いました。

2日目は旅館を出る時に振り出した雨
も、見学地に着くころには止んで、熱田神宮
も名古屋城も、ゆっくりと見学できました。
名古屋城の桜はとてもきれいでした。

平成29年度 小田原創友クラブ秋季研修旅行

(お1人様)

紅葉の立山黒部アルペンルートを貸切バスで行く 秋色景色の室堂と弥陀ヶ原高原 ～魚津・金太郎温泉でゆったり連泊の旅～

43,500円

日程	行程
第1日	小田原各地＝大井松田 IC＝＜東名＞＝足柄 SA (集結)＝御殿場 IC＝＜東富士五湖道・中央＞＝双葉 SA (休憩)＝安曇野 IC 7:00-7:45 発 8:15-8:30 10:00-10:20
	＝安曇野スイス村 (昼食)＝道の駅小谷 (休憩)＝糸魚川 IC＝＜北陸道＞＝黒部 IC＝黒部名水めぐり (生地)＝魚津市内「宿泊」 11:30-12:30 14:00-14:20 15:30-16:20 16:40 頃着
■ご宿泊ホテル 日本の名湯 金太郎温泉 TEL: 0765-24-1220	
第2日	金太郎温泉＝魚津 IC＝＜北陸道＞＝立山 IC＝立山あるべん村 (休憩)＝＜立山有料道路＞＝弥陀ヶ原 (高原の紅葉を車窓にて) 8:00 発 8:50-9:10
	＝室堂 (秋色景色のみくりが池散策)＝＜立山有料道路＞＝立山あるべん村 (昼食)＝立山 IC＝＜北陸道＞＝砺波 IC 10:30-11:30 12:40-13:30
第3日	＝井波別院瑞泉寺 (彫刻で有名 / 参拝)・門前石畳の町並み (散策)＝砺波 IC＝＜北陸道＞＝魚津 IC＝魚津市内「連泊」 14:30-15:00 15:00-15:45 16:45 頃着
	金太郎温泉＝魚津 諏訪神社 (たてもん祭り会場 / 豊漁の神参拝)＝魚津埋没林博物館 (見学)＝＜北陸道＞＝能生 IC 8:30 発 8:45-9:05 ※たてもん祭り「ユネスコ無形文化遺産」 9:10-9:50
＝マリンドーム能生 (海産物の買物)＝能生 IC＝＜北陸道・上信越道＞＝長野 IC＝信州そば蔵 (昼食)＝＜上信越道・関越道＞ 10:50-11:20 12:40-13:40	
＝上里 SA (休憩)＝(軽夕食付)＝＜圏央道＞＝厚木 PA (休憩・解散式)＝＜小田原厚木道または東名＞＝小田原各地 15:05-15:25 16:45-17:05 18:00-18:45 頃着	

※この旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況等により多少時間が変更になる場合がございます。
※ 出発日より、見学順が変更になる場合があります。

班	日程	地区
1班	9/26(火)～9/28(木)	下中・十字・芦子・豊川・桜井・富士見・酒匂・山王網一色・早川・大窪・緑
2班	10/1(日)～10/3(火)	幸・足柄・二川・東富水・下曾我・片浦・前羽・富水

班	日程	地区
3班	10/3(火)～10/5(木)	万年・久野・国府津・上府中・曾我・下府中・新玉

<p>■申込方法／最寄りのクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい</p> <p>■お問い合わせ／小田原市老人クラブ連合会事務局 TEL 0465 (32) 5800</p> <p>もしくは最寄りのクラブ会長様へ</p>	<p>旅行取扱会社 (株)小田急トラベル 小田原販売センター TEL 0465(22)0801</p>
---	---

<宿泊先>
魚津市内
日本の名湯 金太郎温泉(連泊)

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

創友クラブ 春季研修旅行 「桜舞う日本名城と 博物館明治村見学」

下府中地区 鴨宮二区第二長寿会 細田 利一

一泊二日の愛知観光名所を満喫の旅は、下府中地区は第4班で4月6日から7日にかけて実施されました。宿泊先の突然の変更があったものの予定の参加者全員がバスに乗り小田原を出発して駿河沼津SAで他のバス3台と合流、結団式を行い一路明治村へと向かいました。

空模様が心配される中、明治村に到着、記念写真を撮った後昼食を済ませて園内に入りました。広大な敷地に点在する多くの建物をどこから見るのが良いか迷ってしまいました。園内乗り放題のバスで取り敢えず終点の帝国ホテル前まで行きました。ところがバスを降りると間もなく雨が降ってきました。仕方なく帝国ホテルに雨宿りしながら素晴らしい建物を拝見しました。2階の喫茶でコーヒーを飲み雨のやむのを待ちましたが雨がやまないで見学を諦めてバスで正門に戻りました。雨には勝つて残念。

いに盛り上がり第1日を終わりました。

2日目は朝から雨の降る中に出発でしたが熱田神宮に到着する頃には雨もやみ本宮(ほんぐう)伊勢神宮とほぼ同様の神明造りに参拝、お日柄が良かったのか敵かな結婚式に出会いました。

次に桜の名所「名古屋城」を見学しました。雨も止み記念写真を撮り城内を散策、桜は満開を迎えておりみんな大興奮でした。枝垂桜をはじめ染井吉野もいたるところで満開で我々を迎えてくれました。一日目の突然の雨で見学が中途半端なうっ憤を名古屋城の桜が見事に晴らしてくれました。

名古屋ビール園「浩養園」で昼食後バスは一路小田原に向けて出発、車内でビンゴゲームを楽しみながら全員無事に小田原に到着しました。



東日本大震災 復興支援の旅

箱根町老人クラブ連合会長 上野 治巳

特別投稿の旅行記

箱根町老人クラブの計画で実施された旅行記を「小田原創友クラブだより」に投稿していただきました。

平成29年度を迎えた箱根町老人クラブ連合会の最初の事業が春季の旅行である。例年では多くが観光地めぐりであったが、今年では会員の親睦とともに、あの大震災から6年を過ぎた東北3県を、復興支援を兼ねて自分たちの目で見たいと役員会で決定した。

5月16日から18日の日程で、大型バスでの長旅であったが18人の会員が参加し、バス乗務員2名、バスガイド1名と旅行業者1名の計22名により、午前7時30分に箱根湯本を出発した。

天候にも恵まれて、小田原厚木道路から圏央道、東北道と、渋滞もなく新緑の野山を見ながら進んだ。2時間に1度の休憩をとり、昼食は車中の弁当であった。バスは快適に東北道を北に向かつて進んだが、仙台南部道に入ると、震災により倒れたままの住宅、屋根にブルーシートがかけられた住宅や、山崩れの跡が見えてきた。道路で行き違う自動車も、復旧工用のダンプカーが多く見られるようになってきた。

1日目の宿は気仙沼温泉で、夕日が海に沈むころに宿に着いた。

2日目も天気は良く、参加者はみな元気で、バスは陸前高田の奇跡の一本松へと向かった。震災前には海岸線に7万本の松があり、名所として知られ、夏は多くの人が訪れる海水浴場であった。また防風林としても大きな役割を果たしてきたが、震災後は一本しか残らず、今では奇跡の一本松と言われるようになった。海岸線は広く長く、海が見えないくらいの高さの防波堤工事が進められ、陸地では3mくらいの高さの盛土工事が

が進められていた。住民の姿は見る事ができず、工事作業員とダンプカー、そして仮設のコンビニしかなく、住民がいつ戻って生活できるのか見当がつかないほどの現状であった。誰もが想像できなかったような、考えられないほどの大きな津波であったと思う。

バスは三陸鉄道の盛駅に向かい、釜石駅まで50分間、南リアス線に乗車した。バスの車窓と違い、津波の怖さを自分の目で見る事ができた。電車の中で乗客の方に話を聞いたが「海岸線は津波が30mくらいで多くの河川では河口から40kmくらい逆上した」と話していた。

釜石駅からは、バスで大槌町を通って浄土ヶ浜に向かい、遊覧船で穏やかな湾内を40分間遊覧した。船内のガイドの話では「津波は30m以上で、湾内の小島は津波で見えなくなり、乗船場の桟橋も全部流された」とのことであった。昼食をとったホテルは小高い場所にあったが、「津波で3階まで海水が入り、室内のものは全部流された」と話していた。

2日目はバスで海岸線を通り、多くの港や港町を見てきたが、復旧工事が進み、海が見えないほどの高さの防波堤や、陸地では3m以上の高さの盛り土の宅地造成が進められているが、住民の姿はあまり見えなかった。2日目の宿は盛岡市に近いつなぎ温泉の宿であった。

2泊3日のバス旅行での復興支援と言っても何もできないが、自分の身をもって地震、大津波、放射能と、三重三重といった被害を受けた住民の大変な思いを知ることができただけでも心の中の復興支援と思い、罹災された方々が一日も早く安全で安心な生活ができることを祈りながら帰路についた。



写真提供...あさひ国際旅行株式会社様

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員文芸



酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
撒餌待ちに連なる雀の子
遠く富士亡妻のふる里梅まつり
亡妻蒔きし枇杷孫の背を越しにけり

俳句

富水地区 西北長寿会 熊坂 千枝
斑雪とけて富士山夏霞
無人寺縁の下の蟻地獄

万年地区 高寿会 山田 和子
新緑もおどりをさせる春の風
幼児に綿菓子思ふ雲ふわり
太陽が海面照らすダイヤなり

十字地区 銀杏の会 生田目茂子
夏 生き急ぎ寄り道なしの蝉しぐれ
冬 羽子板の助六抱くや茶髪の子

下曾我地区 相生会 永吉 正子
舞姫の所作艶やかや新年会
曾我の春舞う人唄う人々も

短歌

富水地区 飯田岡第一寿会 岡田チヨ子
草鞋はき通学するのは常だった
不幸かんじず皆生き生きと
ちち、ははの居らぬ古里足遠く
あの法事から八年が経つ



桜井地区 城北健寿会 杉山 久子
大阪場所ひいき相撲の応援に
夕べの肉じゃががお焦げとなりぬ
幼き日若き日初老と時をすぎ
今日は八十路の桜見上げる

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
そうかもうばあばどこにもいないのか
情けないやら夢醒めぬやら
ばばの死を同窓会へご報告
県立平塚江南高校

影でいい影でいいからそばに居て
八十六歳ばばさま恋し

川柳

前羽地区 町屋長楽会 大井川悦雄
美辞麗句嘘方便の結婚式
人情に触れたく何度も道の駅
東北が本当の春を待ちわびる

十字地区 銀杏の会 生田目茂子

お犬様鎮座まします乳母車
猿かぞく扶養家族の如くくる

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

孫押せばファーストクラス車椅子
空の涯やマト追ひ抜くばばの雲
姦たべ爺さんすごいと褒められる

富水地区 飯田岡第一寿会 下沢 芳郎
晩酌に生きるよろこび老い楽し
90歳をすぎた私の一番の楽しみは日課になっ
ている晩酌のひと時

晩酌の至福は妻の聞き上手
晩酌のともはいつも妻がそばで話し相手をし
てくれる一番安らぎを感じるひと時

原稿募集

『小田原創友クラブ』70号(30年冬号)に原稿をお寄せください。
単位老人クラブの活動している様子、特別な行事に参加している様子など投稿してください。
(※活動している様子、行事の様子など写真を添付してください)
日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳などお寄せ下さい。
*紙面の都合で長文の場合は分量をカットまたは次回回しにする場合があります。
*二重投稿、発表済のものは受け付けません。
*必ず氏名・地区名・クラブ名・電話番号を明記してください。

発行 平成30年1月
締切日 平成29年10月20日

◆宛先 〒250-0055
小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会「小田原創友クラブ」教養部

日々の雑感

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

曾我の梅まつり(1)

曾我の梅まつり(2)

一、春まだ浅き 下曾我の
満山薫る 梅まつり
ばあばに一回 見させたい
去年はここへ 来たんじゃないか
二、姪に連れられ 同窓会へ
梅の香むせぶ 宴席に
七十余年の 友垣と
語り合えたは 愉快じゃないか
三、それから三月 たたぬまに
病に負けて 散ろうとは
あふるる里の 梅まつり
ばあば雲間で 見てるじゃないか
(昔の歌の替え歌です)

一、ばあばの里は 梅まつり
まだ二分咲きの 木かげから
娘盛りの ばばさまが
片目を閉じて 消えました
二、ばあばの里は 梅まつり
もう満開の 木かげから
花嫁姿の ばばさまが
手を振りながら 消えました
三、ばあばの里は 梅まつり
白い花散る 木かげから
脚立に乗った ばばさまが
臉に浮かび 消えました
(昔の歌の替え歌です)

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

Large empty rectangular area at the bottom of the page, likely intended for additional information or contact details.

春季研修旅行

「桜舞う日本名城と
博物館明治村見学」



曾我地区

環境美化活動



あとがき

「小田原創友クラブ69号」に皆様方より多数の投稿をいただきありがとうございます。また、単位クラブ活動報告も2回目の掲載となり、クラブ内の動向が良くなるか、期待がされ、身近な感触が伺えます。今後も単位クラブの特長がわかるような投稿をお願いします。

次回発行の70号について皆様方の要望をうけ新しい企画を取り入れたいと思います。

教養部一同心を引き締め次号に向かつて頑張りますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

(教養部)

会員加入増強運動

期間中です

平成26年から5カ年間で県老連では20,000人の目標で実施致しております。

小田原創友クラブの推進項目として

- ◎未加入者宅にパンフレットの投函
- ◎会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ◎未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。

※単位クラブ2名以上の増員が最低目標ですので皆さま全会員で努力しましょう。

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています
